

調査書の記入・作成要領等

(1) 作成

- ① 中学校長は、志願者の調査書（様式 6－1）を令和 7 年12月末日現在で作成する。
- ② 調査書の各欄は、特に指示するもののほかは、「指導要録」に基づいて記入し、作為があってはならない。
- ③ 旧年度卒業生の調査書は、卒業後 5 年を超える志願者については、学籍の記録を除き記入を不要とする。また、卒業後 20 年を超える志願者については、調査書に代えて卒業証明書を作成して提出する。

中学校卒業	調査書等の作成について
令和 7 年 3 月卒業	令和 7 年度入学者選抜の様式を用いて作成する。 (令和 8 年度入学者選抜の様式を用いてもよい。)
令和 6 年 3 月卒業	令和 6 年度入学者選抜の様式を用いて作成する。 (令和 8 年度入学者選抜の様式を用いてもよい。)
令和 5 年 3 月卒業	令和 5 年度入学者選抜の様式を用いて作成する。 (令和 8 年度入学者選抜の様式を用いてもよい。)
令和 4 年 3 月卒業	令和 4 年度入学者選抜の様式を用いて作成する。 (令和 8 年度入学者選抜の様式を用いてもよい。)
令和 3 年 3 月卒業	令和 3 年度入学者選抜の様式を用いて作成する。 (令和 8 年度入学者選抜の様式を用いてもよい。)
令和 2 年 3 月卒業 ～ 平成 18 年 3 月卒業	令和 8 年度入学者選抜の様式を用いて作成する。 (学籍の記録のみを記入する。)
平成 17 年 3 月卒業 以前	卒業証明書を作成する。

※なお、旧年度卒業生の調査書の「現住所」欄は、志願者が現在居住する住所を記入する。
 ※該当する年度の調査書の様式が必要な場合、中学校は高校教育課に請求すること。
 ※県外からの志願者も本県の様式で作成すること。

(2) 各欄の記入

- ① 数字は、原則として算用数字を用いる。
- ② 「性別」欄は、「男」又は「女」を記入する。
- ③ 「略歴」欄は、旧年度卒業生の場合は「見込」を黒の二重線または一本線で削除する。元号も二重線または一本線で削除して書き換える。
- ④ 「各教科の記録」欄の記入は、次のとおりとする。
 - ア 第 1 学年、第 2 学年の「観点別学習状況」の評価は、指導要録に記載された A 及び C を転記し、B は - (ハイフン) を記入する。
 - イ 第 3 学年の「観点別学習状況」の評価は、令和 7 年12月末日までの学習状況をもとに A 及び C を記入し、B は - (ハイフン) を記入する。
 - ウ 「観点別学習状況」欄の「計」には、各学年とも各教科における A の数の合計を記入する。
 - ※ 一部、他と異なる評価法や基準により評価を行った教科については、「観点別学習状況」の評価に () を付けるとともに副申書（様式は任意）を添付すること。「観点別学習状況」欄の「計」には、() を含めた A の数の合計を記入し、() を付けること。
 - ※ 評価不能の教科については、斜線を引くとともに副申書（様式は任意）を添付すること。「観点別学習状況」欄の「計」には、評価不能の教科を除いた A の数の合計を記入すること。
 - エ 第 1 学年、第 2 学年の評定は、指導要録に記載されたものを転記する。
 - オ 第 3 学年の各教科の評定は、令和 7 年12月末日までの学習状況をもとに 5 段階評定で記入する。

カ 「評価」欄の「計」には、各学年とも各教科の評価の合計を記入する。

※ 一部、他と異なる評価法や基準により評価を行った教科については、評価に（ ）を付けるとともに副申書（様式は任意）を添付すること。「評価」欄の「計」には、（ ）を含めた合計を記入し、（ ）を付けること。

※ 評価不能の教科については、斜線を引くとともに副申書（様式は任意）を添付すること。「評価」欄の「計」には、評価不能の教科を除いた合計を記入すること。

- ⑤ 「特別活動の記録」欄は、第3学年のものを中心に、内容ごとにその趣旨に照らして十分満足できる状況にあると判断される場合には、○印を記入し、それ以外の場合には、－（ハイフン）を記入する。
- ⑥ 「行動の記録」欄は、第3学年のものを中心に、項目ごとにその趣旨に照らして十分満足できる状況にあると判断される場合には、○印を記入し、それ以外の場合には、－（ハイフン）を記入する。
- ⑦ 「出欠の記録」欄の「欠席の主な理由」は、欠席の主な理由がある者について、その理由（病名、事故の種類等）を記入する。ただし、欠席日数が学年ごとに合計10日以上ある者については必ず記入する。記入すべき事項がない場合は、斜線とする。
- ⑧ 「健康の状況」欄は、就学及び受検上配慮すべき事項がある場合、その事項について具体的に記入する。記入すべき事項がない場合は、斜線とする。
- ⑨ 「総合的な学習の時間の記録」欄は、第1学年、第2学年及び第3学年における総合的な学習の時間の活動内容と評価を記入する。ただし、第3学年については、令和7年12月末日までの内容と評価を記入する。
- ⑩ 「参考となる諸事項」欄は、各教科や総合的な学習の時間の学習に関する所見、特別活動に関する事実及び所見、行動に関する所見、学校内外における奉仕活動、表彰を受けた行為や活動等の諸事項及び生徒の成長の状況にかかわる参考となる諸事項等を記入する。
- ⑪ 「記載責任者」は、学級担任とし、「職」については、教諭、講師等の職名を記入する。

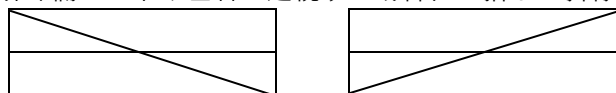
（留意事項）

○「各教科の記録」「特別活動の記録」及び「行動の記録」の各欄を除き、特に指示がない場合、記入事項がない欄は空欄とせず、斜線を引くこと。

○斜線は、左上から右下（）、右上から左下（）のどちらでもよい。

○斜線を引く欄が上下や左右に連続する場合、一括して斜線を引いてよい。

例）



（3）提出

- ① 中学校長は、志願者の調査書を入学願書等と併せて志願先高等学校長に提出する。
- ② 調査書は、高校教育課のホームページから取得した用紙（様式6－1）に記入したもの、又はそれをコピーしたものに押印して提出する。